

「ごみゼロフリーマーケット2022」実施報告

日時	令和4年5月28日（土）午前9時から午後1時
場所	リサイクルセンター広場
天候	晴れ
来場者	約1,700名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケット39店参加 ・おもちゃの病院 ・福祉作業所による物品販売 ・小平産野菜の販売（タマネギ30個、キャベツ20個、ニンニク10個） ・食物資源堆肥の無料配布（200袋配布） ・フードドライブ（未利用食品の回収、市内利用向け34.3kg、342品、社会福祉協議会） ・牛乳パックの回収・雑貨の粗品との交換（東多摩再資源化事業協同組合） ・脱プラスチックの啓発（小平・環境の会） ・リユースビンの啓発（多摩きた生活クラブ まち小平） ・廃食油の回収（回収330、こだいらソーラー） ・廃食油から作った石けん販売（小平石けんひまわりの会） ・東京水の資料配布、啓発・水道相談受付（東京都水道局） ・市民版環境配慮指針（環境家計簿）の啓発・省エネクイズ（環境政策課・エコダイラネットワーク） ・陶磁器食器の回収（回収261kg） ・小型家電の回収（回収5kg） ・分別相談、来場者シールアンケート（アンケート回答112名、資源循環課）
特記事項	<p>令和元年度以来3年ぶりの開催となった今回は、天候にも恵まれ、幅広い世代の来場があり、コロナ禍以前の本イベントと同程度の来場者数であった。</p> <p>また、今回から会場がリサイクルセンター広場となったが、市民ボランティアの方々に運営協力をいただき、無事に終了することができた。</p> <p>フリーマーケットは、広場の真ん中にある原っぱを会場とし、多くの方々がフリーマーケットを楽しんでいた。</p> <p>フリーマーケット会場の周りでは、福祉作業所による物品販売や、環境団体による啓発活動などを行い、来場者が様々な環境に関する問題に触れ合う機会となった。</p> <p>陶磁器食器、小型家電などの資源物の回収も定着しており、好評であった。</p> <p>「来場者アンケート」では、ごみゼロフリーマーケットについて、シール式のアンケートを行い、ご回答いただいた方にはごみ減量の啓発グッズをプレゼントした。</p> <p>「ごみゼロ」をテーマに、イベントの中で極力ごみを出さないことを目指し、出展者はプラスチック袋を渡さない、参加者はマイバッグを持参して買い物をするなど、イベントの趣旨が浸透していた。</p>
従事者	<p>運営ボランティア 9名</p> <p>資源循環課職員 11名</p> <p>環境部応援職員 3名</p> <p>委託警備 8名</p>

【参考】「ごみゼロフリーマーケット2022」の様子

